

#セカンドピニオン外来
#インプラントリカバリー治療

インプラントの機能は半永久的なのか!?

～長期間の万全なサポート体制とリカバリー治療が大切～



歯学博士 朝倉勉 院長

日先研認定医指導医
大阪大学歯学部歯科医師
臨床研修指導医

日本糖尿病協会歯科医師登録医

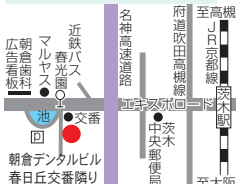
朝倉歯科医院

インプラント審美補綴研究所
大阪大学歯学部臨床研修施設
小児歯科Happy club
ホワイトニングサロンBLANCA
茨木市南春日丘1-1-19

☎072-625-2001

📞0120-468-321

com21adc@gold.ocn.ne.jp



インプラントの歴史は米国が発祥で、日本では開業医が普及させ、1980年代のインプラントはブレードタイプが主流でした。現在使用されている表面処理されたコーンタイプは、骨性統合により、以前より結合が強度となり、第2の永久歯と言われます。人工歯根は入れ歯と違い、咀嚼力や噛み心地が良く違和感なく快適ですが、種類も施術する医院も多く、最適な選択肢にはセカンドオピニオン外来の受診が有効です。特にリカバリー手術は高度なテクニックと適切な咬合を付与した上部構造、経験豊かな歯科医と技工士の連携が必要です。人工歯根は、永久に機能するものではありません。高齢化社会が進行し植立後長期経過したインプラントのトラブルが多くみられます。インプラント周囲炎や過剰な負荷により、痛い、ぐらつく、腫れると撤去となります。トラブル時のリカバリー治療に対応できるのか? オペ後の継続的サポート体制が整っているのか? について知ることが重要です。



歯科セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きします
インプラント・金属アレルギー・入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・
審美歯科・訪問診療などはお気軽にご相談ください。